

8 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 （ 要 点 ）

日 時 場 所	令和7年9月1日（月）午後2時00分 庁舎第3別館2階 会議室
出席委員	教育長 小澤和樹、委員 山本泰正、委員 高橋典子、 委員 竹田美和、委員 野間真美
会議に出席した 者の職・氏名	副教育長 越智政徳、教育政策局長 青野光尚 教育大綱推進課主幹 崎山憲一、学校教育課長 井上洋 生涯学習課長 瀬尾孝志、学校給食課長 渡部信一、 教育大綱推進課長補佐 松岡敏一
傍聴人	一般1名
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 7月教育委員会会議録の承認 2 会議録署名委員の指名 3 教育長報告 4 議題 <ul style="list-style-type: none"> 議案第45号 令和7年度教育費補正予算に係る意見聴取について 議案第46号 第2次今治市学校適正配置基本方針について 議案第47号 教育委員会事務局職員の処分について 議案第48号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について その他1 専決処分について（損害賠償額の決定及び和解について） その他2 寄附採納報告について
小澤教育長	午後3時00分、開会を宣す。 日程番号1、6月定例教育委員会の会議録を承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
小澤教育長	日程番号2、会議録の署名委員に、山本委員、高橋委員を指名する。

小澤教育長

日程番号3、教育長報告を行う。

質疑がないか問う。

山本委員

知性と学びの危機に目をという新聞記事が8月18日にでており、小中学生の学力低下が確認され、子どもの生活や保護者の意識の変化と関係があるのではないかと。社会全体で対応を考える必要があるということだった。まず、決定的なのは勉強の時間の低下で、いろいろな原因があるのだろうが、ゲームの時間が長くなっていることや保護者が成績にこだわらなくなっていること、デジタルへの関わり方について、悪影響の部分で止まるのではなく、デジタル環境に能動的に触れ、広い意味での学習に活用することが非常に重要になるのではないかとということが書かれている。また、社会変化に対する教員の能力のブラッシュアップに触れられている。また、学校教育で学ぶ意味や意義を実感させてこなかったことが原因としてあり、子どもの自己調整力の育成と大人の学び直しの活性化はつながっており、生涯学び続ける社会の実現に本気で取り組む時ではないかとの講評であった。

野間委員

私からは意見が2点ある。一点目は、デジタルへの関わり方についてで、世界では、オーストラリアなどで若い人へのSNSの禁止や制限があると思う。日本そして今治市では、制限などはないが、正しい使い方を意識し子供を守っていくことはもちろん必要だ。大人でも休みの日に長くスマホを触りすぎて、時間を無駄にしてしまったということもある。学校からも、夏休み前など、機会があるごとに、SNSの使い方には注意すべき点もあり、世界では制限されている国もあるということは何度も子どもたちに伝えていくことで、依存に気を付けようと考えたり、自制につながられるのではと思う。

もう一点は、去年から実施されているイングリッシュキャンプについて。個人情報の問題もあると思うが、活動に楽しんでいる写真などを公表することはできるのか。写真がたくさんあれば簡単に動画も作ることができる。次回以降の参加の参考になると思う。

崎山教育大綱推進課主幹

イングリッシュキャンプの状況については、現在、ホームページの方で、昨年、実施した様子の写真等を掲載している。今年度については、動画も撮影しており、掲載を予定している。

—各委員—	質疑なし
小澤教育長	審議に入る前に本日の日程のうち、「議案第47号 教育委員会職員の処分について」は、人事に関する案件ですので、今治市教育委員会会議規則第11条に基づき、非公開としたい。
—各委員—	承認する。
小澤教育長	<p><議題審議></p> <p>「議案第45号 令和7年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明を求める。</p>
青野教育政策局長	—「議案第45号 令和7年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明—
小澤教育長	質問がないか問う。
野間委員	国際交流推進業務委託について、どういうものなのか教えてほしい。
青野教育政策局長	今年度、17名配属しているALTを30名追加し、最終的には、令和8年度から40名のALTを市内小中学校に配属する予定です。その前段として、外国の市と国際交流協定を締結し、その市から、ALTを派遣してもらうスキームを考えている。相手先については、委託業者を決定後、選定することを考えている。
高橋委員	<p>ALTを40名配置されるということで、現場の先生にとってありがたいと思うし、子どもたちも生きた英語を学ぶ機会があるということは素晴らしいことだと思う。</p> <p>予算とは直接関係ないが、現在、イングリッシュキャンプやALTなど充実しているが、一昨年までオーストラリアへの海外派遣があつて、今は諸事情で中止になっていると聞いている。先ほど山本委員から意見があつた学ぶ意味の実感など、いろいろな意味で海外派遣は効果があつたと思う。今治市の子どもたちが、海外に行くという夢を持つことが、学ぶきっかけにもなると思うので、ぜひ再開してほしい。来年度以降、再開の見込み等教えてほしい。</p>
青野教育政策局長	以前実施していたオーストラリアの海外派遣については、基

金を財源として実施しており、その基金の全額を使用したことで、終了となり、その代わりとして、多くの子どもが参加できるイングリッシュキャンプを実施するなどしている。今後の再開の目処はないが、ALTで国際交流協定を結ぶ自治体などに海外派遣を受け入れる教育機関とかがあるようなら、そういったことも含めて交流を深めることができればと考えている。

小澤教育長

質問がないか問う。

—各委員—

なし

小澤教育長

承認してよいか問う。

—各委員—

承認する。

小澤教育長

「議案第46号 第2次今治市学校適正配置基本方針について」説明を求める。

崎山教育大綱推進課主幹

—「議案第46号 第2次今治市学校適正配置基本方針について」説明—

小澤教育長

質問がないか問う。

竹田委員

小学校を統合した場合、どちらの小学校の建物とするとか、別途新しく学校を作るとか、計画はあるのか。

崎山教育大綱推進課主幹

先ほど説明した地元代表協議会で、今後、協議していくこととなる。どちらかの学校での統合の調整になる。

野間委員

方針案の説明にある表は、国勢調査や今治市の人口の推移などがあり、流れがわかるので、わかりやすい。ただ、5ページの表が今治のことかどうかわからないので、一般の方がわかるよう今治市と入れてはどうか。

崎山教育大綱推進課主幹

そのように修正する。

—各委員—

なし

小澤教育長

承認してよいか問う。

—各委員—	承認する。
小澤教育長	「議案第48号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」説明を求める。
瀬尾生涯学習課長	—「議案第48号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」説明—
小澤教育長	質問がないか問う。
小澤教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
小澤教育長	「その他1 専決処分について（損害賠償額の決定及び和解について）」説明を求める。
瀬尾生涯学習課長	—「その他1 専決処分について（損害賠償額の決定及び和解について）」説明—
小澤教育長	質問がないか問う。
小澤教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
小澤教育長	「その他2 寄附採納報告について」説明を求める。
崎山教育大綱推進課主幹	—「その他2 寄附採納報告について」説明—
小澤教育長	質問がないか問う。
小澤教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
小澤教育長	その他に質問がないか問う。

山本委員

デジタル化による学校の先生の働き方改革として、文科省の12のやめることリストがあるが、今治市では、何ができて、何ができないのか教えてほしい。そう思ったのが、昨日の新聞で、松前町の保育園において、2次元コードを活用した園児の登園管理やアプリ上での欠席連絡を来年10月から試験導入するという記事があった。導入することで、園児と向き合う時間が増え、先生の負担軽減につながるということだった。学校の先生はハードワークなのだから、できることから始めていくことが必要ではないか。今現在、検討していることを教えてほしい。

井上学校教育課長

状況を確認して、次回、回答する。

小澤教育長

現在少子化が進む中、今治市ができることということで、子育て世帯へのサービスを考える際に、市長部局だけでなく、学校としても関わっていく。その具体的な例として、共働きの家庭に午前中に帰ると留守家庭になってしまうといったことから、来年度は、できるだけ早く、給食を提供できるよう考えている。水曜日が入学式なので、翌週からは給食を提供できるようにして、放課後を学校で対応できるようにする。こういったことも先生が子供と向き合う時間につながり、子どもたちとの人として関わる時間は増えてきている。そういった中で、出欠確認など、ICTを如何に取り入れていくかということを経験だけでなく、教育委員会が具体的なことを新年度に向けて考えていかなければならない。次回、こういったことができる、したいといったことを報告させていただく。

山本委員

自分たちでお金を払って勉強している家庭と学校のインフラだけで勉強している家庭では、学力に大きな差ができていないかと心配している。学校のインフラの範囲を広げてあげることが、だれ一人取り残さない教育につながっていくと思う。以前も話をしましたが、タキソノミーという考え方を基に段階的に授業を進めることが求められる中、ICTを取り入れて早めに対処した方がいいと思う。先生が生徒と向き合う時間や自分を高めるための勉強をする時間などが合理的に確保できるような仕組みづくりを教育委員会で考えていかなければならないと思う。

高橋委員

働き方改革について、現場の先生方と話をすることが多くあ

ったが、ある学校では、保護者や来客、電話対応を6時以降は子どもたちの授業の準備などに充てたいので、電話対応等しないようにしたいとPTAに通知したが、初めはすごく反発があったそうだが、丁寧に説明してわかってもらった。導入したところ、6時以降、電話できないということでクールダウンして、クレームの回数が減ったということもあった。保護者対応に追われるとどうしても仕事が遅くなり、先生方の負担になるが、時間を切ることで、楽になったということだった。そういったことも取り入れたいという学校もある。毎日6時からというところもあれば、週2回など、学校の実態に応じて働き方改革を行っている。管理職の方に聞くと保護者へ働き方改革への理解や協力を求める際に教育委員会がバックアップしてくれるとありがたしいということだった。

小澤教育長

承知した。

野間委員

以前もした通知表の話だが、15年ほど前、子供が通っていた小学校の校長先生から保護者に対し、通知表を手書きではなく、エクセル入力に変えさせてほしいとの話があった。当時は働き方改革の意識もあまりなかったため、初めは手書きでない通知表を何か味気ないように思ったが、2学期、3学期になったら、気にならなくなった。保護者に対しては、教育委員会が説明の後押しをすることで、学校がより働き方改革を進めやすくなると思う。

竹田委員

お知らせのプリントだが、学校からもらってくるプリントが多い中、子どもが見せないという話をよく聞くし、学校に行きにくい子に届いていないというのも聞く。締め切りが過ぎた後にプリントを見るということになるのであれば、マチコミなどで、保護者に直接お知らせがいくようにしたり、行事の出欠等の返事があるものについては、グーグルホームを使うなどすれば、集計も楽になるし、紙の節約にもなる。申し込み等についてはどこまで使えるかは調べないとわからないが、プリントに関しては、学校を休んでいても、その日の内に直接保護者に届くシステムがあった方が、确实だと思うので、検討してほしい。

小澤教育長

冒頭で承認された非公開案件である「議案第47号 教育委員会事務局職員の処分について」説明を求める（傍聴人退席済）

崎山教育大綱推進課主幹

—「議案第47号 教育委員会事務局職員の処分について」説明—

—【非公開】—

—各委員—

—【原案のとおり承認】—

小澤教育長

その他に質問がないか問う。

小澤教育長

午後3時31分、閉会を宣す。